

THE ROTARY CLUB OF TOTTORI NORTH 2022 ▶ 2023

Rotary 

鳥取北ロータリークラブ

● 会長……千金 周一 ● 副会長……入江 容子 ● 幹事……寺本 光孝
● 会計……霜村 哲男 ● SAA……田中 和夫 ● 広報・プログラム委員長……水野 治郎



イマジン
ロータリー

例会場: ホテルモナーク鳥取 例会日: 火曜日12:30~13:30

Tel.24-3536 Fax.29-6741

■ 創立: 昭和36年2月23日 ■ 事務所: 鳥取市扇町22-1 山陰合同銀行鳥取駅前ビル

国際ロータリーのテーマ

E-mail kitarc@infosakyu.ne.jp http://www.infosakyu.ne.jp/kitarc/

2023年4月4日(火) 四つのテスト 第2978回

本日の例会

- ◆ 君が代・奉仕の理想 ◆ 卓話
「米国視察の話」
宮崎正彦さん
- ◆ 献立 洋食
- ◆ 委員会事項
誕生日御祝

※例会終了後、定例理事会「例会場」

2023年4月11日(火) 四つのテスト 第2979回

次週の例会

- ◆ ロータリーソング ◆ 会員卓話
我らの生業 松原雄平さん
- ◆ 献立 ◆ 例会終了後、次年度理事会・
カレーライス クラブ協議会4階「大山の間」

先週の例会

2023年3月28日(火)

会長挨拶

先週の火曜日は祝日で例会がありませんでした。毎週火曜日がロータリーの例会であるというリズム感でこの20年以上過ごして来たので何となく寂しい気もしますが、その反面少しほっとしているところもあります。身の回りが忙しくなると毎週会長挨拶を考えて、役員会、理事会、その他様々の事を考えていくのがちょっとだけ面倒になります。幹事の寺本さんも仕事の合間を縫って色々な調整事をこなしています。ここで私達が考えなければならない事は今後誰が会長や幹事を行うにしてもあまり多くの負担感を感じさせないようにしなければならないという事だと私は思います。

役職を受けたからには様々な行事に出席しなければなりません。4月も日曜日ごとに倉吉での合同IM、松江での地区協議会、岡山での米山奨学生のオリエンテーションと続きます。これに毎週火曜日の例会や理事会、次年度理事会、新入会員のインフォメーション

となれば少しオーバーワークであると感じざるを得ません。次年度以降の課題としては役割を分担して限られた人の負担感を減らす事も考えなければなりませんし、ロータリー行事の多い月は例会の回数を減らすという事も考えてはどうでしょうか。例会は一回休会するけど全員で合同IMへ行くように工夫するとか。私は会長という立場があるので合同IMへ行ってもそれを次回例会のメイキャップに使う事はありませんが、会長でなければそうすると思います。もしくは合同IMを欠席したかもしれません。

ロータリーで得られる魅力的な事、それに費やす時間と労力、そのバランスがいびつなものにならない様に考えていきたいと思います。

ゴルフ同好会でもお世話になった湊会員が本日の例会をもって退会される事となりました。残念ですが後程ご挨拶して頂きます。

以上、本日の会長挨拶とさせていただきます。

幹事報告

- 1 到着文書
 - 1) 境港ロータリークラブより、創立60周年記念誌
 - 2) 鳥取県より、地域づくり関係助成事業動画配信について
- 2 例会変更・メイキャップ情報
 - ・米子中央ロータリークラブ
3月30日(木)休会 *ビジター受付なし
 - ・倉吉中央ロータリークラブ
3月29日(水)休会 *ビジター受付なし
- 3 その他連絡事項
 - ・昨年度米山奨学生バインバトロさんよりお願い
中国農業科学院都市農業研究所で働いています。
5/22~5/24国際園芸学会(ISHS)研究所が主催する国際学術会議が開催。中国の現地若しくはオンラインで参加願います。
 - ・新会員福石さんの公示終了、4/19インフォメー

- ション、5/9入会式
- ・シリア・トルコ義援金 30,000円送付
- ・1月~3月会費未納の方へお願い
- ・例会終了後役員会

次年度田村幹事より報告

- ・パスト会長会を4/18(火)に開催いたします。
- ・2023年度石倉ガバナー公式訪問 7/25(火)夜間例会に決まりました。

湊さん退会挨拶

会社の退任をもって退会させていただきます。心残りは最後のゴルフ同好会が雨で延期になったことです。コロナ禍の入会で短い間でしたが皆様ありがとうございました。

委員会事項

◎出席率報告

3月28日 会員48名中 出席36名(zoom1名) 75.00%

◎入会記念日御祝

谷口昭二さん（1年）

◎国際奉仕委員会松本委員長より

・ロータリー財団と米山奨学会の寄付のお願いを出させていただきました。

・米山奨学生の李さんから御礼のメッセージがあり、無事に京都へ行かれました。

*スマイル報告

（本日13,000円 累計382,800円 前回369,800円）

千金周一さん ①山本さま、本日は卓話楽しみにしております。②湊さん、ゴルフ同好会のお世話ありがとうございました。後は谷口さんに託しますので安心してください。

入江容子さん 袋川の桜も満開です。山本洋さん本日の卓話、楽しみにしております。

寺本光孝さん 日曜日のゴルフは残念でした。同好会の皆様お疲れ様でした。私は往復3時間、無料で道上先生とデイスカッションさせて頂きました。非常に有意義でした。先生色々気を使って頂きありがとうございました。

植田哲朗さん 先日の日曜日、町内会のお花見に参加しました。袋川土手沿いの事務所の3階で窓を全開してお花見です。桜の木の下は雨のため誰も歩いてなく、でも、きれいな桜を堪能しました。

牧浦繁雄さん 山本様、今日はありがとうございました。卓話を楽しみにしております。

道上正規さん 今日はすばらしい天気で気が晴々します。ゴミ処理場が良い時にオープンになりました。是非一度は見学に行ってみてはどうでしょうか。

湊 正彦さん 鳥取北ロータリークラブを退会することとなりました。今日が最後の例会です。短い間でしたが、皆様大変お世話になりました。ありがとうございました。

田村博信さん 山本様、本日は卓話宜しく申し上げます。

※2大御祝（本日2,000円 累計112,000円 前回110,000円）

谷口昭二さん 入会記念日

卓話

「多様な脅威に備える」

公益社団法人隊友会

鳥取県隊友会会長 山本 洋 氏



はじめに

露ウ戦争をはじめとする昨今の厳しい周辺情勢が続く中、昨年末に戦略3文書が改定され、戦後の安全保障政策が大きな転換点を迎えている。我が国が備えるべき脅威は多様化し、とりわけ情報戦、認知戦等とも称される目に見えない（見えにくい）脅威への備えは喫緊の課題である。このような情勢を踏まえ、国民の我が国防衛に対する関心は高まっている一方で、「国を守る」意識は国際的に見ても極めて低調である。国民が自衛隊員の本質を理解し、必要な人材の確保なくしてわが国の防衛は全うできません。

1 安全保障政策の大転換（戦略3文書の改定・閣議決定（R4.12.16））

国家安全保障戦略策定の趣旨（要点）は、総合的な国力を最大限活用し国益を守る（国家の対応を高次のレベルで統合させる戦略）、ということである。一方、我が国の安全保障に関する基本的な原則とし

て、「専守防衛」「非核3原則」の堅持が明記された。我が国を取り巻く安全保障環境については、中国を深刻な懸念事項、最大の戦略的挑戦、北朝鮮を一層重大かつ差し迫った脅威、ロシアを安全保障上の強い懸念、とした。

国家安全保障戦略を受けて策定された国家防衛戦略及び防衛力整備計画の着実な実行が求められる。「実行元年」との認識の下、「仏に魂を」入れなければ画餅となってしまいます。

2 多様な脅威

多様な脅威に備えるためには、「全領域戦」の時代に入ったことを認識すべきである。その特徴は①軍事的手段のみならずあらゆる非軍事的手段を駆使した戦い②あらゆる領域を使った戦い③平時と戦時を問わずおこなわれる（平時を重視）ことである。特に、目に見えない（見えにくい）脅威に対する備えが我が国の生存を左右する。中でも情報戦、認知戦、デジタル影響工作（民主主義国家の脆弱性）への無関心は致命的となるだろう。また、日本人の宗教観では理解しづらいロシアの「テオシス思想」やイスラム原理主義などに関する研究は紛争解決の糸口を探る端緒となるのではないのでしょうか。

3 国を守る覚悟

自衛隊・防衛問題に関する世論調査（R4.11.17～12.25）では、自衛隊に「非常に関心がある」「ある程度関心がある」が78.2%（+10.4）、自衛隊の規模を「増強した方が良い」が41.5%（+12.4）であった。一方で、世界価値観調査（2017-2020）では、「戦争になった場合、あなたは国のために戦いますか？」という問いに「はい」と回答したのはわずか13.2%で、調査対象77ヶ国中最下位でありました。

4 自衛隊員の服務の宣誓

全ての自衛隊員は入隊時、「事に臨んでは危険を顧みず、身をもって責務の完遂に努め、もって国民の負託に応えることを誓う」。これは、国内外に例を見ない宣誓（警察官、消防官、他国軍人）である。このような隊員に対して国民はどのように報いるべきか。国家安全保障戦略に明記された「自衛官等への評価」をどのように体现すべきか深刻に考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

5 人材確保

隊員定員の100%充足が創隊以来未達（「充足率」を予算要求）である現状は今に至るも放置されたままである。既述の通り自衛隊に対する関心は高まっているものの、少子化継続の中、志願者の減少に歯止めがかからない。直近では露ウ戦争による否定的な影響なのかもしれない。自衛隊は主として地方協力本部が自衛官募集の業務に当たっているが、全国的に苦戦を強いられています。

おわりに

県内所在部隊は、昨年末の鳥インフルに伴う災害派遣（陸自米子駐屯地）、昨春のウクライナ被災民に対する人道救援物資輸送（空自美保基地）など国内外で黙々と活動していることをご理解いただきご支援・ご声援をお願い致します。

（担当 田中英剛）